

一

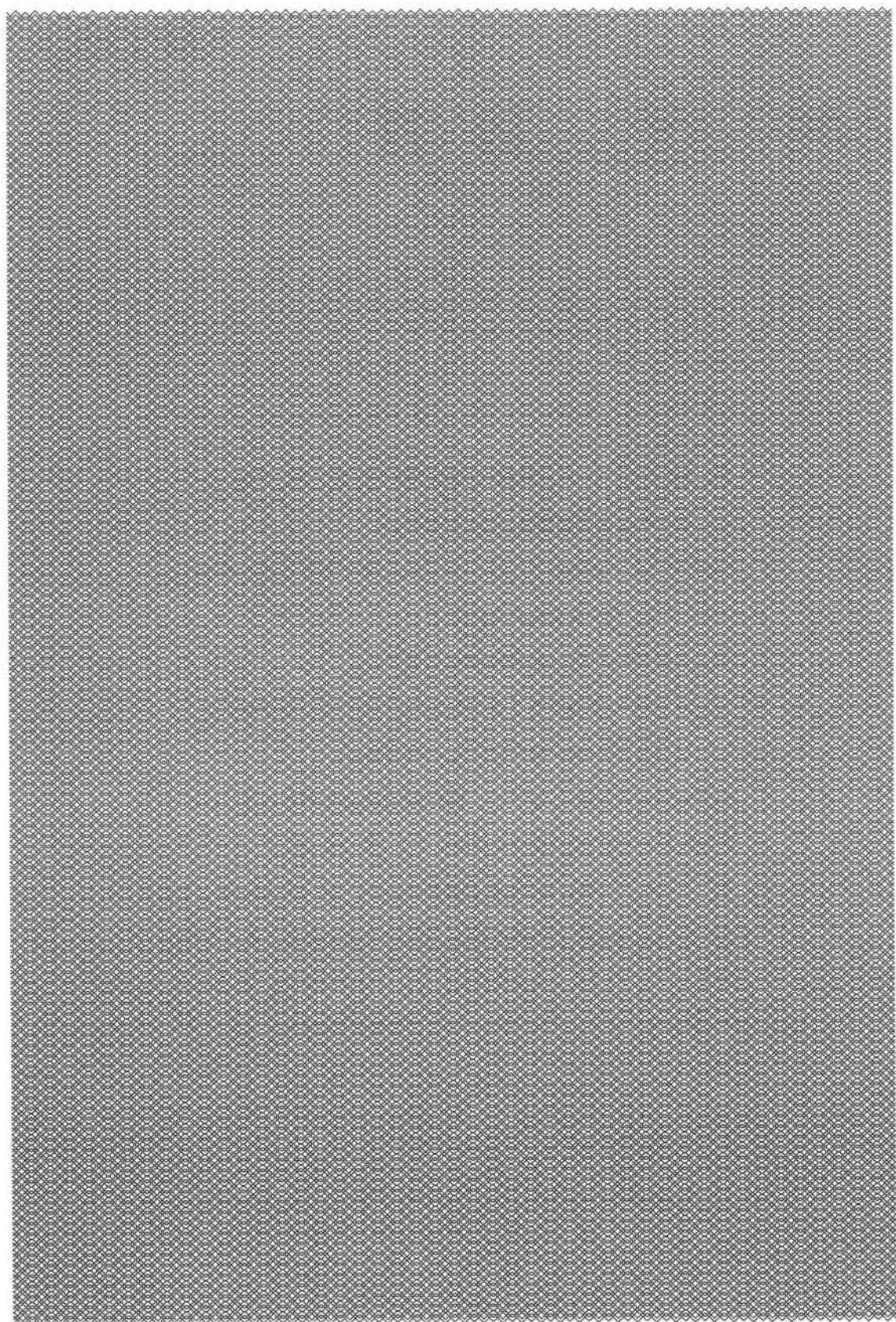
次の――線部の漢字の読み方をひらがなで書きなさい。

- ① その地は生系の生産が有名だ。
- ② 人間に大切なのは克己心だ。
- ③ 祖母に青磁の壺を送る。
- ④ 今日は朗らかな秋空だ。
- ⑤ 全部署に押印廃止を指示した。

二

次の――線部のカタカナを漢字に直しなさい。

- ① 電子ニンショウが広まってきた。
- ② 文書をカイランする。
- ③ 後継内閣のシュハンが決定された。
- ④ 創作にポットウする。
- ⑤ 赤くウレたトマトを買う。



次の枠内の漢字を用いて四字熟語を三つ作るには一字足りません。その足りない漢字一字を答えなさい。

例

機	柔	一
両	断	優
危	不	髪

危機一髪

優柔不断

解答：刀

一刀両断

①

言	同	大
異	敵	断
小	油	語

②

得	利	一
心	害	失
機	拳	両

③

起	回	本
末	承	転
倒	結	死

④

深	気	味
長	意	無
合	燥	乾

⑤

明	大	我
山	引	公
水	田	紫

次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

「私」は小学五年生の女の子。一人っ子で両親は共働き。夏休みの間は祖父母の家に預けられ、伯母さんの世話になって過ごしている。ある日、早朝の海岸で一人の男の子に出会う。男の子は病気の祖母を喜ばすため、砂と小さな貝でラムネ瓶の中に「海」を作っていた。その美しさに感嘆した「私」は、自分も一緒に「海」を作らせてもらう……

彼の名前は田中はるにれ君といった。変な名前だから、彼の口から聞いたときは冗談かと思った。

「はるにれ……」と繰り返しつぶやく私の心情を X したのか、「変な名前でしょう？ はるにれって木の名前なんだって、大きくまっすぐ育つようにって」と説明を付け足した。

「これから大きくなるのかなあ。僕、背の順だといつも一番前なんだ」

① そう言って空を見つめるはるにれ君は、小学五年生で、私と同じ歳だと判明した。

「これからだよ、大きくなるのは」

私よりも小さいはるにれ君を励ました。

私たちは日の出とともに海岸に集合する。浜辺にはるにれ君の姿を見つけると、浜辺に降りていくのだ。

伯母さんの「朝ご飯だよー」の聲が家から聞こえてくるまでの間が、はるにれ君と私、二人だけの時間だった。

はるにれ君のリュックにはいつもパンパンに荷物が入っていた。はるにれ君はリュックの中から空のラムネ瓶を取り出し、砂の上に置いた。

「四次元ポケットみたい。いろいろ出てくるね」

私の冗談に、はるにれ君はフフフと小さく笑った。

準備ができたなら、はるにれ君の「青空工作教室」のスタートだ。

はるにれ君と会うようになってから、私は朝が来るのが楽しみになっていた。

はるにれ君は空気のような子どもだった。② 隣にいて、たとえ会話が途切れてお互いに黙りこくったまま作業をしても、居心地がよかった。

「中のレジン液が固まったら、瓶の外側に絵を描こう。今度は絵の具を持ってくるね」

今日はそう言って別れた。

じゃあね、また明日。

私が使っている部屋の窓際には、はるにれ君のおばあちゃんの部屋と同様、ラムネの瓶が並んでいた。

はるにれ君のように器用にはいかない。初めて作った私の海は、レジン液の中に砂が飛び散ってしまった。

はるにれ君はよくぼうつとしていて、私が話しているときも、聞いているのか聞き流しているのか解らないのに、彼の作る作品は、小学生にしてすでに芸術の域だった。

「百円ショップに売ってたキラキラしたハートやお星さまのパーツを、海の中に入れてみようと思うの」

「いいね。凄くいいアイデアだよ」

私が提案すると、はるにれ君は大きくうなずいて褒めてくれた。

③ 明日はどんな絵を描こうかな？ はるにれ君はどんな絵を描くんだろう？ 下手クソだと思われたくないから、練習しておこうか。

私はノートを開き、魚の絵の練習を始める。

コンコンと部屋の扉がノックされ、「どうぞ」と声を掛けたと同時に、伯母さんが扉の向こうから顔を出した。

「今ね、お母さんから連絡があつてね、明日のお昼ごろに迎えにくるつて。よかったわね。一ヶ月以上もお母さんと離れていたのだから、会いたかったでしょう？ 伯母さん、買い物に行つてくるわね。最後の夜だから、今夜はちらし寿司を作りましょう」

につこりと笑みを浮かべたまま、伯母さんは階段を降りていった。

お母さん、明日迎えにくるんだ……

今日は何月何日だつて？ 壁に掛かったカレンダーを見て、夏休みの残りがあと一週間しかないのだと解った。

はるにれ君と出会つてから、日々が過ぎるのがあつという間だった。楽しい時間は過ぎるのが早いのだと、担任の先生が言つていた。

帰る準備をしないといけない。

明日、はるにれ君にお別れしなくちゃいけない。

ラムネ瓶の絵はきつと描けない。

はるにれ君と作つた私の海。窓に並ぶラムネ瓶を見つめた。

「おはよう」

翌朝、浜辺にはるにれ君がやつて来たのを見つけて、私は海へ降りていった。大きなリュックを背負つた小さな後ろ姿に声を掛けると、「おはよう」と彼も挨拶を返した。

はるにれ君は薄手のパーカーを羽織り、相変わらずフードをほつ被りしていた。

起きたままの状態で、鏡も見ずにここにやつて来たのか、おでこの辺りに一角獣のような寝癖が突き出ていた。

どうやって寝たらそんな寝癖が？

私ははるにれ君のおでこを指し、笑い声を上げた。まったく、別れの朝だというのに相変わらずのお惚けだ。^{とほけ}

「私ね、今日帰ることになったんだ。急でごめんね。昨日、ママから迎えにくるつて連絡があつたの。私も驚いているんだよ」

笑つたあとでぼろりと告げた。はるにれ君は、^⑤はつと驚いたような顔をしたあとで、背負つたリュックのショルダーストラップを握りしめた。

「ごめんね。だから今日は絵を描いてる時間はないの」

「そうか、残念だなあ」

はるにれ君がぼつりとつぶやいた。

「ねえ、来年の夏もここに来る？」

「分からない」

私の問いにはるにれ君はそう答えた。

「私、来年の夏もここに来るから。ここに、私の海が入つたラムネ瓶があるの。これ、はるにれ君が持つてて。また来年、ここで会つて絵を描こう」^⑥

私は矢継ぎ早に告げて、ラムネ瓶をはるにれ君に押し付けた。^⑦

はるにれ君は瓶を受け取ると、困つたような顔をしていた。

「あの、僕……」

彼が何か言いたげに言葉を発したところで、「はるにれ君が来るまで、ずっと待つてるから」と強引に会話を締めくくつた。

はるにれ君のことを私は何も知らない。電話番号も、どこの小学校に通っているのかも、好きな食べ物は何なのかも。

知つていふことと言え、山の上に住んでいるおばあさんのことと、彼が小さな芸術家であること。

彼との約束が欲しかった。また会えるのだという確信が欲しかった。

「ありがとう。楽しい夏休みだった」

はるにれ君は帰り際にそうつぶやいた。その言葉を聞いたときに、ここを離れるのが名残惜しくなった。たぶん、今思えば、そ

れが私の初恋だったのだ。

季節は廻り、また夏がやって来る。

少し伸びた身長と、女の子らしく伸ばし始めた髪。夏休みが来るのが待ち遠しかった。

今年は母親から提案される前に、田舎に行きたいと自ら告げた。

車の窓を開け、潮の香りを感じると胸が高鳴る。もうすぐはるにれ君に会えるのだとワクワクしていた。

彼はどんな一年を過ごしたのだろうか？

背は伸びた？

私のことを少しでも思い出してくれたかな？

「すっかり女の子になっちゃって。去年使ってた部屋、そのままにしてあるからね。自分の家だと思っていいからね」
伯母さんは相変わらずの世話好きだ。

「ありがとうございます」とお礼を言って、一年ぶりの部屋へと入った。

大きな本棚にお客さん用の布団。窓の所には、去年、置いていったままのラムネの瓶――

「伯母さん、あの一番右側の瓶はどうしたの？」

無造作に並んだラムネ瓶の一つに装飾がされていたのだ。人魚の周りを踊る鮮やかな魚の群れ。

この絵は確かに彼の絵だ。

「ああ、あれね。去年の夏の終わりに男の子が訪ねてきて、置いていったんだよ」

伯母さんの話によると、私がここを離れてから数日の間に、はるにれ君のおばあさんが亡くなったのだそうだ。

はるにれ君のおばあさんはお屋敷に一人で住んでいた。はるにれ君のお母さんは、おばあさんの家を売ることにしたらしい。今では、違う人が住んでいて、はるにれ君の家族がこの地に戻ってくる可能性はもうないだろう。

はるにれ君は、私ともう会うことはないのだと知っていたのだ。

だから、私の差し出したラムネ瓶に絵を施して、わざわざ届けてくれたのだ。

楽しかった思い出に？

ありがとうって意味で？

何か伝えようとしていたはるにれ君の口を遮ったのは、私だ。

わがままで嫌な子だと思われてもいいから、もう一度、はるにれ君に逢いたかった。

夏が来るたびに、あこのころの甘酸っぱい思い出が蘇る。^⑧

はるにれ君が絵を描いた私の海は、今も捨てられずに、机の上に飾ってある。

ビー玉が日差しを反射して、ゆらゆらと私の海に光の影を作る。楽しそうな表情の人魚。

成長したはるにれ君は、今もラムネ瓶に彼の海を作っているのだろうか？

こんな切ない思いになるのなら、いつそ夏なんてなくなればいいのにと、私はガラス瓶の人魚を指先で小突いた。^⑨

(北沢あたる『なつのかげら』による)

問1 空欄 X に入る漢字一字を答えなさい。

問2 — 線部①「そうやって空を見つめる」とありますが、この時の「はるにれ君」の心情の説明として最も適当なものを選び、記号で答えなさい。

- ア 名前負けしていることに絶望している。
- イ 変な名前だと思われることに嫌気がさしている。
- ウ 名前のように本当に大きくなるか気がかりである。
- エ 冗談のような名前で彼女の気をひきたいと思っている。
- オ 名前の説明をすることに飽き飽きしている。

問3 — 線部②「空気のような子ども」とありますが、「私」は「はるにれ君」をどのような存在だと感じていますか。最も適当なものを選び、記号で答えなさい。

- ア 自然に振る舞えて気のおけない存在。
- イ 言葉に出さなくても思いが通じ合う存在。
- ウ いなければ苦しくなるほど重要な存在。
- エ 自分を高めてくれる刺激的な存在。
- オ いてもいなくても変わらない目立たない存在。

問4 — 線部③「下手クソだと思われたくない」とありますが、この時の「私」の心情の説明として最も適当なものを選び、記号で答えなさい。

- ア 「はるにれ君」に認められたい。
- イ 「はるにれ君」に自慢したい。
- ウ 「はるにれ君」を手なづけたい。
- エ 「はるにれ君」を鼻白ませたい。
- オ 「はるにれ君」に仕返ししたい。

問5 — 線部④「まったく、別れの朝だというのに相変わらずのお惚けだ」とありますが、この時の「私」の心情の説明として最も適当なものを選び、記号で答えなさい。

- ア 「私」にとっても特別な朝なのに、「私」の思いに全く気づかずマイペースに振る舞う「はるにれ君」の姿に困惑している。
- イ 「私」にとっても特別な朝なのに、身だしなみすら整えてこない「はるにれ君」のだらしなさにあきれ、苛立^{いらだ}っている。
- ウ 「私」にとっても特別な朝なのに、寝起きのまま鏡も見ずに別れの場に現れた「はるにれ君」の態度を苦々しく思っている。
- エ 「私」にとっては特別な朝なのに、拍子抜けするほどいつもと変わらない「はるにれ君」の態度をどこか憎めなく思っている。
- オ 「私」にとっても特別な朝なのに、「私」を笑わそうと変な寝癖を作ってきた「はるにれ君」に対して、急速に関心を失っている。

問6 ―線部⑤「はっと驚いたような顔」とありますが、なぜ驚いたような顔をしたのですか。その説明として最も適当なものを選び、記号で答えなさい。

ア 早朝の海岸で顔を合わせるだけに過ぎない「私」に、突然思いもよらない言葉をかけられたことに虚を突かれたから。
イ 二人でラムネ瓶の絵を製作する楽しい日々がまだ続くように思っていたが、「私」の一言で終わってしまうことに気づいたから。

ウ 「私」にラムネ瓶を持ち帰らせるために、残されたわずかな時間で絵を完成させなければならないことに気づいたから。
エ 今まで談笑していたのに、唐突に別れを告げて、楽しい雰囲気をごち壊した「私」の人間性に疑問を感じ始めたから。
オ 今日帰ることを理由にラムネ瓶の絵を完成させず、自分に押しつけようとしている「私」に対し、憤りを覚えたから。

問7 ―線部⑥「ラムネ瓶をはるにれ君に押し付けた」のは、「私」にどのような気持ちがあったからですか。「から」につながるように、本文より二十字以内で抜き出なさい。ただし、句読点や記号も一字として数えます。

問8 ―線部⑦「困ったような顔」とありますが、なぜ困ったような顔をしたのですか。その説明として、最も適当なものを選び、記号で答えなさい。

ア 「私」に来年もここで会える可能性は高くないから。
イ 「私」に本当のことを伝えてはいけないから。
ウ 「私」にいきなり残りの作業を押しつけられたから。
エ 「私」がとめどなく言葉を浴びせかけてくるから。
オ 「私」の言いなりになる自分がふがないから。

問9 ―線部⑧「あのころの甘酸っぱい思い出が蘇る」とありますが、この時の「私」の心情を言い表している一文を本文より探し、最初の五字を抜き出なさい。ただし、句読点や記号も一字として数えます。

問10 ―線部⑨「私はガラス瓶の人魚を指先で小突いた」について、A～Eの五人で話し合い、意見を出し合っています。次の意見のうち、作品の解釈として適当だと思うものを二つ選び、記号で答えなさい。

- A 「指先で小突いた」とあるのは、人魚の絵を上手に描いた「はるにれ君」に、「私」が嫉妬を感じているんだと思う。
- B 人魚が「楽しそうな感情」なのが、「私」には不快なんだよ。自分は「切ない思い」なのに、なんで楽しそうなの？つて。世の中の不公平さに怒りを感じているんだと思う。
- C 人魚の表情を見て、あの夏の日の自分を思い出しているんじゃないかな――一方的に話をし、打ち切ってしまった自分を。だって、夏になるたびにほろ苦い気持ちになるのは、そのせいでしょ。
- D 「はるにれ君」を思い出して、「私」はきつとこう思うんだろうね。なぜ「はるにれ君」は行く先も告げずに去ってしまったのか、つて。その恨みがあるから、人魚を「指先で小突いた」んだ。でも、「はるにれ君」のことが好きだから、ラムネ瓶は捨てられないんだね。
- E 「指先で小突いた」というのは、「はるにれ君」のことを思い出すと胸が苦しくなるけど、でも「私」にとつて忘れられない大切な思い出という、微妙な気持ちの表現だと思う。

五

次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

長寿が多い樹木に対して、多くの草花の葉っぱは、一～二年以内に枯れてしまいます。そのため、草花の葉っぱの寿命は、一～二年以内であることはよくわかります。 a、春に出てきた葉っぱが冬になると落葉する、落葉樹とよばれる樹木の葉っぱの寿命も、わかりやすく、一年以内です。

それに対し、一年中緑の葉っぱをつけている常緑樹とよばれる樹木の葉っぱの寿命は長いと思われがちです。 b、個々の葉っぱの寿命は、何百年、何千年という樹木としての寿命に比べると、そんなに長くはありません。短いものでは数カ月、長いものでも数十年です。もっとも長いものとしてよく例にあげられるのは、長寿の木として前項で紹介されたブリススルコーン・パインの葉っぱの寿命で、三三年とか四四年とかいう数値です。

① 身近な常緑樹であり、樹齢何百年とか何千年といわれるクスノキでは、五月から六月にかけて、多くの葉っぱが枯れ落ちます。このとき、「ほとんどすべての葉っぱが落葉し、新しい葉っぱと入れ替わる」といわれることがあります。それに対し、「約半分の葉っぱが落葉し、約半分の葉っぱは緑のまま生き残る」ともいわれます。

ほとんど全部が入れ替わるのと、約半分が入れ替わるのでは、クスノキの葉っぱの寿命は大きく異なることになります。ほとんど全部なら、葉っぱの寿命は約一年です。約半分が入れ替わるのなら、葉っぱの寿命は二年以上です。

たしかに、同じ種類の樹木の葉っぱであっても、寿命の違いは見られます。この原因は、その樹木の育つ環境が異なるからです。葉っぱの寿命は、主に、温度や、光の当たり具合、湿度などに影響されます。

暖かく日当たりの良い場所で、多くの光合成を行うクスノキの葉っぱは、五～六月に、ほとんどすべてが入れ替わります。それに対し、温度が低かったり、日当たりが良くなかったりして、葉っぱがあまり多くの光合成を行うことができないような場所で育つクスノキでは、葉っぱの寿命が長くなり、五～六月に入れ替わる葉っぱの量が少なくなります。

一般に、葉っぱの寿命が尽きる落葉という現象では、その葉がどれだけ光合成を行ったかで決まることが多いと考えられます。よく光合成をした葉っぱの寿命は短く、光合成量が少ないものの寿命は長くなります。

その葉っぱが生涯にできる光合成量は、決まっているかのような現象です。ということは、葉っぱには、「X」^①という性質があるようです。

この傾向は、イネの葉っぱの老化で、実験的に確認することができます。葉っぱの老化の進行は、葉っぱに含まれる緑の色素であるクロロフィルが減少し、葉っぱが黄色くなることでわかります。

イネの芽生えを栽培すると、一枚ずつ葉っぱが出てきます。出てきた順に、第一葉、第二葉、第三葉と名前をつけていきます。番号が大きくなるほど、あとから出てきた若い葉っぱです。

若い葉っぱが出てくると、芽生えの成長を担う光合成は、古い葉っぱから若い葉っぱへ移行します。そこで、第三葉を残して、あとから出てくる若い葉っぱを抜き取る場合と、抜き取らない場合で、第三葉の老化の具合を調べます。

第四葉以上を抜き取ると、第三葉はいつまでも光合成をしなければなりません。そのため、老化が早まるはずですが、逆に、第四葉以上を抜き取らないと、第五葉、第六葉という若い葉が出てきて光合成をするので、第三葉の負担が減り、第三葉の老化は抑えられることが期待されます。

実際に実験してみると、予想通りの結果になります。^②

落葉樹の葉っぱは、春からはたらく続け、秋遅くになると枯れ落ちます。このとき、枯れた葉っぱは、風に吹かれて、舞い落ちるのに見えます。しかし、葉っぱは、いのちが尽きて、枯れたあとに、風で吹き落とされるわけではありません。葉っぱは自分で準備をして、自ら舞い落ちるのです。

葉っぱは、冬の寒さの訪れが近づくと、「冬の寒さの中で、自分はまもなく役に立たなくなる」と感じ、引き際を悟ります。春からはたらいてきた葉っぱの最後の仕事は、枯れ落ちるための支度です。

「葉っぱは、ほんとうに自分で枯れ落ちる支度をするのだろうか」と、疑問に思われるかもしれませんが、しかし、そのように考えられる根拠は、いくつかあります。

一つ目は、葉っぱが、緑色のときにもっていたデンプンやタンパク質などの栄養物を、枯れ落ちる前に樹木の本体に戻すことです。自分の引き際を悟って、自分のもっていた栄養を本体に戻すのです。そのため、落ち葉には、栄養物がほとんど含まれておらず、繊維質ばかりが目立ちます。

樹木の本体に戻された栄養分は、樹木が生きていくために大切なものです。ですから、すぐに使われる場合もあるし、冬の間、種子や実の形で貯蔵される場合もあります。春に芽吹く芽や地中の根に蓄えられるものもあります。

二つ目は、枯れ落ちる部分の形成は、葉っぱからの指令で行われることです。葉っぱは、「葉身」と「葉柄」という、二つの部分から成り立ちます。葉身は、葉っぱの緑色の平たく広がった部分、葉柄は、葉身を枝や幹につないでいる柄のような部分です。

葉っぱは、落葉に先だって、枝から切り離れるための箇所を、葉柄のつけ根の付近につくります。この箇所は、「離層」^④といわれ、ここで、葉っぱは枝から離れ落ちるのです。離層は、そのためにわざわざつくられるのです。

ですから、同じ種類の植物の落ち葉を並べて葉柄の先端を見ると、まったく同じ形をしています。また、落ちたばかりの葉っぱの葉柄の先端を観察すると、その部分だけはまだ新鮮な色をしています。「枯れ葉」といわれますが、葉柄が枯れて落ちるのではないのです。

c 「枝や幹が、役に立たなくなった葉っぱを切り捨てるために、離層をつくる」という印象をもたれるかもしれませんが、そうではありません。離層は、枝や幹からではなく、葉っぱからの働きかけで形成されるのです。そのことを示唆する実験があります。^⑥

枝についている緑の葉っぱの葉身を葉柄との接点で切り取り、葉柄だけを残します。すると、葉身を切り取らない場合と比べて

ずっと早くに、葉柄はつけ根から落ちます。葉身を切り取ると、離層が早くにつくられるからです。

葉身を切り取っても、切り口から葉柄にオーキシンという物質を送り続けると、葉柄は落ちません。オーキシンは、緑の葉っぱの葉身でつくられ、離層の形成を抑えるのです。

これらの現象は、「はたらいている葉っぱでは、葉身がオーキシンのつくって、葉柄に送り続けており、送られてくるオーキシンが、離層の形成を抑えている」ことを示しています。

葉っぱは、オーキシンという物質を送ることをやめ、自分で離層の形成を促して枯れ落ちます。その姿は、「引き際がきれいで、潔い」と思われる場合もあります。たしかに、春からはたらく続けてきた葉っぱが、自分のいのちが尽きるのを悟って、冬が近づいてくると、自分から枯れ落ちていく姿は、「引き際がきれいで、潔い」といわれるのにふさわしいかもしれません。

動物のいのちが尽きるときは、私たち人間の涙を誘うことが多いのですが、植物たちの葉っぱがいのち尽きるときに姿に涙する人はほとんどいません。でも、多くの葉っぱが落葉する秋に、^⑦何となくもの悲しさが漂うのは、その涙に代わるものかもしれません。

(田中修『植物のいのち——からだを守り、子孫につなぐ驚きのしくみ』による)

問1 空欄 a c に当てはまる言葉を、次の中からそれぞれ選び、記号で答えなさい。(同じ記号は一度しか使えません)

ア なぜなら イ ともすると ウ また エ つまり オ しかし

問2 ——線部①「このとき、『ほとんどすべての葉っぱが落葉し、新しい葉っぱと入れ替わる』ともいわれます」とありますが、このように観察者によって様々な報告が出されたのはなぜでしょうか。その説明として最も適当なものを選び、記号で答えなさい。

ア 常緑樹であるクスノキの葉っぱの寿命は長いと思われるが、実際の寿命は一年以内であるから。
イ 常緑樹であるクスノキの葉っぱの寿命については諸説あり、解明されていない部分もあるから。
ウ 常緑樹であるクスノキの葉っぱの寿命は、それぞれの個体に備わっている性質により決まっているから。
エ 常緑樹であるクスノキの葉っぱの寿命は、個々の木の樹齢に応じて決まってくるから。
オ 常緑樹であるクスノキの葉っぱの寿命は、それをとりまく様々な条件の違いにより変わってくるから。

問3 空欄Xに当てはまる文として、最も適当なものを選び、記号で答えなさい。

- ア 一枚あたりの負担を抑えるために、新しい葉が少しずつ増えていく
- イ クロロフィルが増えれば緑が濃くなり、減少すれば黄色へと変化する
- ウ はたらきすぎると寿命が短くなり、あまりはたらかないと寿命が長くなる
- エ 日当たりの良い場所では植物は生き生きと育ち、長生きする
- オ 日当たりの良い場所では多くしげるが、日当たりの悪い場所ではまばらになる

問4 — 線部②「予想通りの結果」とは、どのような結果でしょうか。その説明として最も適当なものを選び、記号で答えなさい。

- ア 若い葉っぱを抜きとると、古い葉っぱは早く枯れてしまう。
- イ 若い葉っぱを抜きとつても、古い葉っぱはいつまでも緑のままである。
- ウ 古い葉っぱを残しておくと、若い葉っぱは早く抜け落ちてしまう。
- エ 古い葉っぱを抜きとると、若い葉っぱは大きく育つ。
- オ 若い葉っぱを抜きとつても、古い葉っぱの枯れる時期は変わらない。

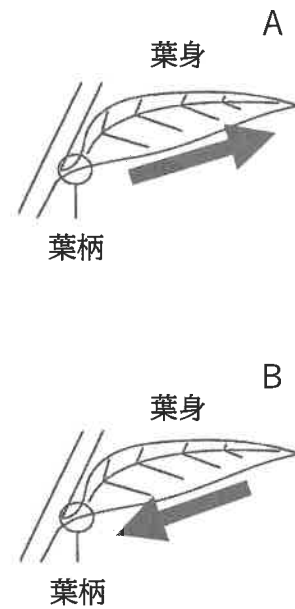
問5 — 線部③「舞い落ちるように見えます」とありますが、この「ように」と~~~~線部が同じ用法のものを選び、記号で答えなさい。

- ア 時間に余裕がなくなった彼は、前のように私と話す機会を奪われた。
- イ 人間も鳥のように空を飛ぶ事が出来たらいいと思う事がありますね。
- ウ あの女のように、醜い魂と、美しい肉身とを持った人間は、ほかにいない。
- エ ただわたしは前もつて言うがね。出ていって後悔しないように。
- オ こっちの正面からのぞくと奥には、書物がいくらかでも備えつけてあるように思われる。

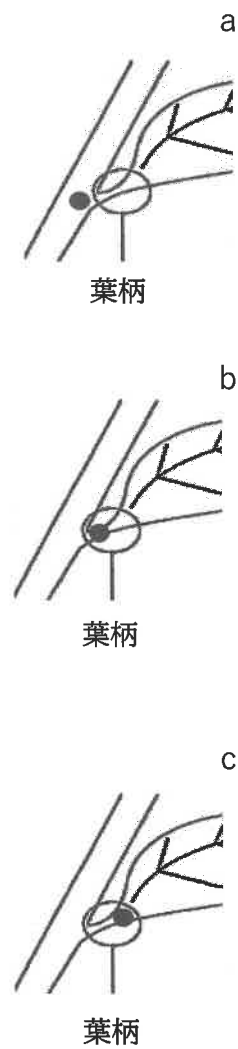
問6 次の図は、——線部④「離層」ができるまでの様子を表したものです。正しい組み合わせを記号で答えなさい。

ア A・a イ A・b ウ A・c エ B・a オ B・b カ B・c

I. オーキシンを送る方向はどちらですか。



II. オーキシンの流れが止まり、離層のできる部分を表している●はどれですか。



問7 ——線部⑤「葉っぱは枝から離れ落ちる」とありますが、枝から離れ落ちた葉っぱの葉柄の説明として、最も適当なものを

選び、記号で答えなさい。

- ア 同じ種類の植物であっても葉柄の先端は様々な形をしているが、落ちた直後は新鮮な色をしている。
- イ 同じ種類の植物であっても葉柄の先端は様々な形をしており、落ちた直後の色も多様である。
- ウ 同じ種類の植物であっても葉柄の先端は様々な形をしており、落ちた直後に枯れた色をしている。
- エ 同じ種類の植物であれば葉柄の先端は全く同じ形であり、落ちた直後は新鮮な色をしている。
- オ 同じ種類の植物であれば葉柄の先端は全く同じ形をしているが、落ちた直後の色は多様である。
- カ 同じ種類の植物であれば葉柄の先端は全く同じ形であり、落ちた直後に枯れた色をしている。

問8 ——線部⑥「実験」とありますが、この実験から得られる結果として、**適当でないもの**をすべて選び、記号で答えなさい。

- ア 葉柄だけを残した葉は葉身を切り取らない葉と比べて、早く葉柄のつけ根から落ちる。
- イ 枝や幹で作られたオーキシシンが葉柄に送られることで、離層の形成が抑えられる。
- ウ 葉身があってもオーキシシンが葉柄に送られなければ、離層の形成が促される。
- エ 葉身が切られてもオーキシシンが葉柄に送られれば、離層の形成が抑えられる。
- オ 葉っぱで作られたオーキシシンが葉柄に送られることで、離層の形成が抑えられる。
- カ 葉っぱの働きによって形成される離層は、葉っぱが大きいほど早くつくられる。

問9 ―線部⑦「何となくもの悲しさが漂う」とありますが、筆者がこのように述べる理由として、最も適当なものを選び、記号で答えなさい。

ア 植物を観察することによって現代社会で失われたいのちの大切さに気づくから。

イ 植物が動物と比べて人間の日々の生活の中に深く関わっているものと気づくから。

ウ 自然との共生を目指してきた人間にとって全てのいのちは尊いものであると気づくから。

エ 無意識のうちに植物も人間や動物と同じいのちを持つものであることを感じてしまうから。

オ 自分を犠牲にしてもいのちをつなぐとする植物の仕組みを残酷なものに感じてしまうから。

問10 ―線部「自分から枯れ落ちていく」とありますが、これはどういう経過をたどることですか。文中の語句を用いて五十字以内で具体的に説明しなさい。

受験番号	
.....	
氏名	ふりがな

①	
②	
③	
④	(らか)
⑤	

→

①	
②	
③	
④	
⑤	(れた)

二

①	
②	
③	
④	
⑤	

問 1

問 2

問 3

問 4

問
7

(から。)

四

問
8

問 9

問 10

五

問 1

a

b

c

問 2

問 3

問 4

問 5

問 6

問 7

問 8

五

[illegible]